

J-PlatPatの普及に向けた最近の取組

— 講習会や動画などで J-PlatPat の利活用方法を支援しています！ —

Recent Initiatives to Promote J-PlatPat

INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館） 知財情報基盤センター 知財情報部長

石附 直弥

平成 19 年特許庁入庁。光学分野の特許審査、審判に従事のほか、調整課、一般財団法人日本特許情報機構、情報技術統括室を経て、令和 8 年 4 月より現職。

1 はじめに

J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）¹は、INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館）が提供するオンラインサービスであり、国内外の知財情報（特許、実用新案、意匠、商標）を検索・照会できる。

J-PlatPat の主な特徴は、①事前手続不要で無料かつ日本語で利用可能である点、②知財に関する公的な総合支援機関である INPIT が提供している点、③公報や経過情報を正確な一次情報として迅速に提供している点である。

企業や大学などにおける知財情報活用は重要であり、そのすそ野拡大と利活用スキル向上のために、J-PlatPat の基本的な使い方から実践的な活用方法までを分かりやすく伝える普及活動の役割は極めて大きい。

本稿では、J-PlatPat の普及活動の位置付けを整理したうえで、オンライン講習会、個別説明会・意見交換、活用事例集、動画コンテンツ、マニュアル等の最近の取組を紹介する。

2 J-PlatPat における普及活動の位置付け

2.1 J-PlatPat の役割

J-PlatPat は、無料かつ日本語で利用可能であることから、知財情報に初めて触れるユーザーにとって「入口」として機能する特性を有している。また、継続的な利用を通じて検索スキルや分析力を向上させることで、

経営課題解決やその他種々の目的のために知財情報の有効活用を促すなど、「知財情報リテラシー向上」に資する役割も担う。さらに、正確な一次情報を提供することから「基礎インフラ」という役割も有している。

これらの観点を踏まえると、J-PlatPat が果たすべき役割は、次の三つに集約される²。

- A. 知財情報活用の入口
- B. 知財情報リテラシー向上
- C. 知財情報の基礎インフラ

2.2 J-PlatPat の普及活動の重要性

上記の役割を最大限に果たすためには、システム機能の向上のみならず、新規利用者のすそ野拡大と、利用者の利活用スキルを高めるための支援、すなわち普及活動の充実が不可欠である。

普及活動の充実の重要性については、平成 28 年

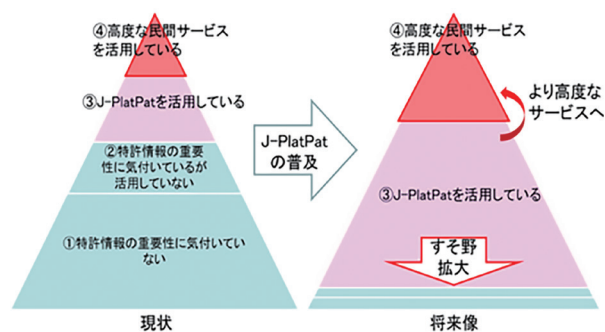


図 1 特許情報サービスの活用に関する現状と将来像

2 角田貴章, J-PlatPat の役割とそれを踏まえた改善の取組 Japio YEAR BOOK 2025, https://japio.or.jp/00yearbook/files/2025book/25_1_05.pdf

1 J-PlatPat, <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

に産業構造審議会に取りまとめられた報告書³でも提言されている。この報告書では、図1に示すとおり、J-PlatPat 活用のすそ野拡大と、J-PlatPat を活用する者が増加するにつれてより高度な民間サービスへと移行するという考え方が示されている。この考え方の重要性自体は現在においても変わらない。

そして、INPIT では、J-PlatPat の普及活動に関し、下記に示す中期目標（令和6～9年度）を定めて普及活動を行っている。

- ・目標期間中毎年度、①マニュアルの配布件数、②講習会受講者数、③動画コンテンツ再生数を合わせて、22,000以上を達成する。
- ・マニュアル、講習会テキスト、動画コンテンツに関しては、ユーザーのレベル、ニーズに応じて、内容、説明の方法等をアレンジ、カスタマイズすることが必要。ユーザーの生声に基づいたマニュアル、講習会テキスト、動画コンテンツの不断の改善を求めるとともに、受身の姿勢でマニュアル、講習会、動画コンテンツを提供することに留まらず、“プッシュ型”の普及活動を強化する。

上記を踏まえ、以下では、ユーザーのすそ野拡大、利活用スキルの向上、レベルやニーズに応じた説明内容・方法のアレンジ、ユーザーの生声に基づいた改善、という観点から、最近の主な普及活動について具体的にお伝えする。

3 J-PlatPat における最近の主な普及活動

現在、J-PlatPat の普及活動は、①多数の利用者が参加可能なオンライン講習会、②企業・団体の個別ニーズに応じた個別説明会・意見交換、③実際の活用場面を示す事例集、④時間や場所を問わず学べる動画コンテンツ、⑤マニュアル・パンフレットを中心に展開している。

3 情報普及活用小委員会報告書「特許情報のさらなる活用に向けて、産業構造審議会 知的財産分科会 情報普及活用小委員会、平成28年5月、<https://www.jpo.go.jp/resources/shingikai/sangyo-kouzou/shousai/jouhouhukyu-shoi/document/h28houkokusho/01.pdf>

3.1 オンライン講習会

J-PlatPat オンライン講習会は、無料で、J-PlatPat の利用方法を具体的に解説するものである。1回あたりの所要時間は1時間半～2時間であり、オンライン形式であるため全国各地から参加できる。

（1）令和7年度のオンライン講習会の概要

令和7年度のオンライン講習会は、特許・実用新案、意匠、商標といった法域ごとのニーズに合わせて、利用者が初心者レベルから段階的に理解できるように学習体系を見直した。

学習体系の見直しにあたっては、J-PlatPat の理想的な利用手順である「標準フロー」に基づいて検討した。「標準フロー」は、法域ごとに利用の類型を整理したものである。利用の類型としては、①文献番号が既知の文献又は文献集合データを取得する場合、②文献番号が不明の個別文献を取得する場合などである。これらのパターンを利用者がスムーズに実現できるように、講習会内容を大幅改訂した。

さらに、特許・実用新案の講習会は、ユーザーのレベルに応じて初級編と中級編に分けた。初級編では制度の基礎から丁寧に説明するとともに、中級編では、初心者にとって難解である特許分類と論理式検索を集中的に解説することにした。

加えて、オンライン講習会自体の開催回数を増加させた。令和6年度は計4回の開催であったが、令和7年度は計10回の開催とした。開催実績を図2に示す。最後の2回は、需要に応じる形で一開催あたりの定員を拡

開催日	受講者	内容
令和7年 6月18日	66名	特許・実用新案【初級】
令和7年 7月31日	70名	意匠
令和7年 8月22日	62名	特許・実用新案【初級】
令和7年 9月29日	64名	特許・実用新案【中級】
令和7年 10月31日	62名	商標
令和7年 11月20日	53名	意匠
令和7年 12月16日	65名	特許・実用新案【中級】
令和8年 1月23日	59名	商標
令和8年 2月17日	104名	特許・実用新案【初級】
令和8年 3月13日	85名	商標

図2 令和7年度のオンライン講習会の開催実績

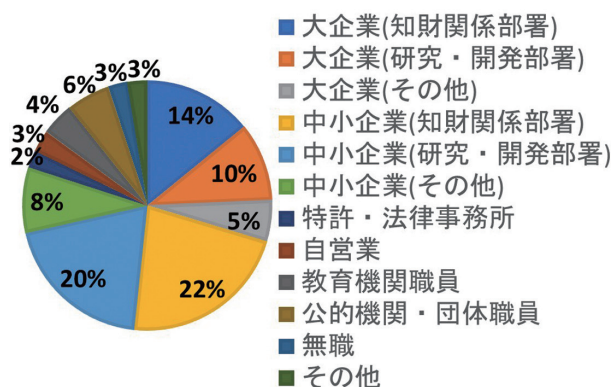


図3 令和7年度のオンライン講習会の参加者

充し、年度合計で690名の方々にご参加いただきました。

令和7年度の講習会受講者アンケート（回答総数354）から分析した参加者の概要を図3に示す。中小企業会社員（知財関係部署）が22%で最も多く、次いで中小企業会社員（研究・開発部署）20%、大企業会社員（知財関係部署）14%であった。参加者属性を見ると、知財部門だけでなく、研究・開発部門からの参加も多い。これは、知財情報が知財部門にとどまらず研究・開発部門でも相当程度活用されており、J-PlatPat 利用のすそ野が広がっていることを示しているといえる。

また、内容、進行、テキストの満足度については、アンケート回答者の30%の方から「とても満足」、60%の方から「満足」と評価いただいた。「普段は、社内でJ-PlatPatの操作について学ぶ機会が無く、手探りの状態で利用しているので、このような講習会を催していただけるととても助かります。」「論理式の作り方も参考になりました。」「非常にわかりやすく、おかげさまですぐに業務に活かしました。」といったご意見をお寄せいただいております。概ね高い評価を得たといえる。

(2) 令和8年度のオンライン講習会の概要

令和8年度についても、前年度に引き続き、特許・実用新案、意匠、商標といった法域別にオンライン講習会を開催する。前年度に見直した講義内容をさらに改善するとともに、開催回数は、前年度の10回から、希望者の多い特許・実用新案中級と商標をそれぞれ1回増加させ、計12回とする予定である。

開催スケジュールの予定を図4に示す。募集が開始

J-platpat オンライン講習会 R8(2026)年度 開催スケジュール

開催:4月下旬 募集:3月 特許・実用新案(初級)	開催:5月下旬 募集:4月 特許・実用新案(中級)	開催:6月中～下旬 募集:5月 商標
開催:7月中～下旬 募集:6月 意匠	開催:8月中～下旬 募集:7月 特許・実用新案(初級)	開催:9月中～下旬 募集:8月 商標
開催:10月中～下旬 募集:9月 特許・実用新案(中級)	開催:11月中～下旬 募集:10月 特許・実用新案(初級)	開催:12月中旬 募集:11月 商標
開催:1月下旬 募集:11月 特許・実用新案(中級)	開催:2月中～下旬 募集:1月 意匠	開催:3月中旬 募集:2月 商標

図4 令和8年度のオンライン講習会の予定

されたら、J-PlatPat トップページに目的別ナビに加えて、INPITの公式HP、X（旧Twitter）、メールマガジン⁴などでお知らせしている。申込は、案内されたWebフォームに入力することで完了する。定員に達し次第募集終了となるため、ご希望の方はお早めにお申し込みいただくことをお勧めする。

3.2 個別説明会・意見交換

特許・実用新案に限定し、より発展的・応用的な内容を説明する個別説明会、及び、活用内容に関する意見交換を、企業・団体向けに無料で実施している。オンライン講習会が幅広い利用者に共通的な内容を提供するのに対し、個別説明会・意見交換は、企業・団体ごとの関心事項に応じて内容を調整する、より実践的かつ“プッシュ型”の普及活動である。

個別説明会では、原則として、INPIT職員が企業・団体の事業所等を訪問し、特許・実用新案に関するJ-PlatPatの発展的・応用的な操作方法や、特許検索における理論・考え方などを説明している。説明内容は、申込者の関心事項を事前に伺ったうえで調整している。例えば、申込者の関心が高い技術分野を例に挙げて講義を行うなど、内容や説明の方法を個別にアレンジ、カスタマイズしている。

そして、個別説明会に続いて意見交換を行い、企業・団体の業務においてJ-PlatPatをどのように活用されているかをお聞かせいただくとともに、J-PlatPatを使っていて感じる困りごと、「あったらいいな」と考え

4 INPIT メールマガジンの購読申込, https://www.inpit.go.jp/md_archives/inpit-mailmagazine.html

る機能などについてのご意見・ご要望をお伺いしている。
これまでいただいた主な参加者の声は以下のとおり。

- ・ 部署全体が知識を向上させるために有益な時間だった。
- ・ 当社の業務内容に合わせたテキストになっており、身近に感じることで理解しやすかった。
- ・ 個別の説明会ということで、ちょっとした疑問でも質問でき大変有意義だった。
- ・ 近傍検索、論理式などをうまく活用すれば検索漏れや検索ノイズを減らせることが分かった。
- ・ J-PlatPat の利便性がさらに理解できたので、関係部署にも利用を促していきたい。

令和 7 年度は、合計 14 企業・団体の 279 名に対して個別説明会・意見交換を行った。令和 8 年度も引き続き募集しており、INPIT の HP⁵ から応募可能である。募集上限があるため、関心のある方はお早めにご応募いただきたい。

3.3 活用事例集「J-PlatPat 活用のススメ」

令和 8 年 3 月に、J-PlatPat 活用事例集である「J-PlatPat 活用のススメ」⁶を INPIT の HP で公開した。「J-PlatPat 活用のススメ」は、J-PlatPat トップページ目的別ナビからもリンクされており、こちらからのアクセスも可能である。具体的な利用場面を示すことで、まだ J-PlatPat を十分に活用していない利用者に対して、「自社でも同じように活用できるのではないか」という気付きを促すことを意図している。

「J-PlatPat 活用のススメ」の掲載例を図 5 に示す。掲載している内容は、活用方法や利便性についてユーザーの生声をお届けする形となっており、具体的には、上記 3.2 の「個別説明会・意見交換」におけるインタビューを対話形式に編集したものである。

「J-PlatPat 活用のススメ」には、図 5 に掲載した事

5 企業・団体向け「J-PlatPat 個別説明会・意見交換」について、https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/individual_lecture/index.html

6 J-PlatPat 活用事例集「J-PlatPat 活用のススメ」、https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/usage_example/index.html

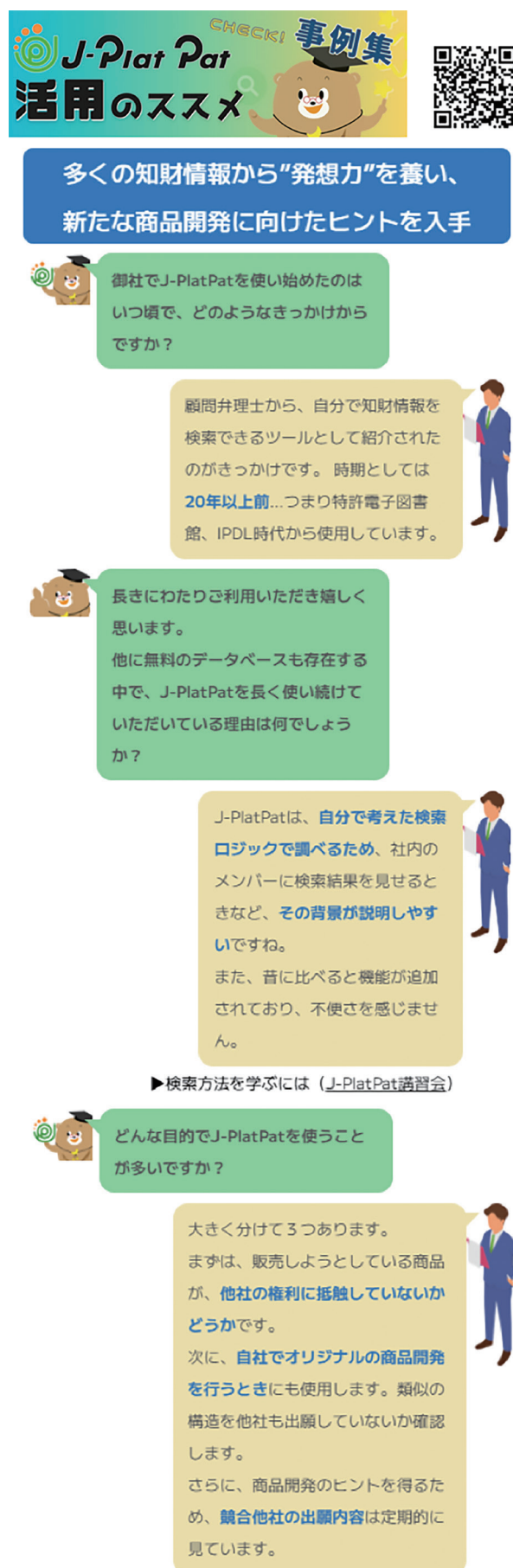


図 5 「J-PlatPat 活用のススメ」の掲載例

例以外にも多数掲載しており、かつ、今後も事例を適宜追加予定である。「J-PlatPat をどのように活かせるのか知りたい」——そんな方は、積極的にアクセスし、研究開発や事業戦略策定など、J-PlatPat の利活用の参考にしていただきたい。

3.4 動画コンテンツ

J-PlatPat の操作方法や利活用方法の解説は、上記で述べた講習会や活用事例集に加えて、動画でも行っている。動画へのアクセスは、J-PlatPat トップページ⁷の目的別ナビに加えて、INPIT が提供する知的財産 e ラーニングサービス「IP ePlat」⁷や、YouTube の INPIT Channel⁸ から可能である。YouTube 以外からアクセスした場合は、動画内容をスライド化した PDF も併せて利用できる。

主な動画コンテンツを図 6 に示す。令和 8 年度は、「近傍検索（特許・実用新案検索）」を新規作成する。近傍検索は、文献中で出現するキーワードの間隔を指定する検索方法である。ノイズを減らし、技術的に密接な記載を拾うという点が最大の特徴であるが、一般的な Web 検索ではなじみが薄いため、初心者にとってはやや難しく感じられることもある。本動画が、近傍検索を理解し、実務で活用するための第一歩となれば幸いである。

これに加え、「J-PlatPat 講習会動画」の内容も一新する。具体的には、前年度にリニューアルしたオンライン講習会に基づき、特許・実用新案、意匠、商標別に、利用者が初心者レベルから段階的に理解できるように学習体系を見直す。今回の内容一新にあたっては、J-PlatPat に関する近年の改修内容（ステージ検索や検索履歴を用いた検索など。）も反映させる。

さらに、J-PlatPat の理想的な利用手順である「標準フロー」（本稿 3.1（1）参照）、すなわち、利用目的に応じてどの検索機能をどの順序で使うかを整理した利用手順に特化した解説として、「INPIT が提案する！ J-PlatPat おすすめ利用フロー」を令和 7 年度に作成・公開済みである。これは、J-PlatPat の基本操作を習得した方にフォーカスし、特許・実用新案、意匠、商標

別に調査をさらに適切に行う上での「利用フロー」を提案するものである。

このように、J-PlatPat の動画コンテンツは不断の改善を行っており、上記や図 6 に示したものも含めて合計 20 本程度の動画が存在する。各人の興味及び習熟度に応じて視聴できる構成となっているため、これらの動画が J-PlatPat の利活用の一助となることを期待している。

3.5 マニュアルやパンフレット

J-PlatPat のマニュアルやパンフレットは、J-PlatPat の機能改善などに合わせて例年内容を更新している。これに加え、令和 7 年度は、初心者の理解を深めるため、マニュアルについて新たに簡易検索及び J-PlatPat における基本原則の章を追加する改訂を行った。マニュアルやパンフレットは、J-PlatPat トップページ⁷の目的別ナビからアクセスできるので、必要に応じてご利用いただければ幸いである。

4 おわりに

本稿では、J-PlatPat の普及活動について、その位置付けを踏まえつつ、最近の主な取組を整理した。

これらの取組に共通するのは、利用者の生声を起点として内容を継続的に見直している点である。講習会のアンケートや個別説明会・意見交換で寄せられた意見は、講習会内容の改訂、動画の作成及び改訂、マニュアルの見直し等に活用している。J-PlatPat の普及活動は、単に利用方法を説明するだけでなく、利用者の課題を把握し、その解決に資する情報提供へと改善していく取組でもある。

今後も、知財情報提供サービス利用者のすそ野拡大及び知財情報利活用スキル向上に資するよう、普及活動の一層の充実に努めてまいりたい。本稿をきっかけとして、より多くの方に J-PlatPat を日々の研究開発、事業戦略策定、権利調査、知財教育等に活用いただければ幸いである。

⁷ IP ePlat, https://ipeplat.inpit.go.jp/Elearning/View/Login/P_login.aspx

⁸ INPIT Channel, <https://www.youtube.com/channel/UCD65y2FukKTAr5wllGoZ0Q>



令和 8 年度新規公開動画（順次公開予定）

近傍検索（特許・実用新案検索）

テキスト検索のツボである近傍検索を、具体例を交えながら解説します。検索効率の大幅 UP が狙えます！

特許情報プラットフォーム 各種機能のご利用案内 近傍検索（特許・実用新案検索） 独立行政法人 INPIT 工業所有権情報・研修館	目次 1. 近傍検索とは 2. 2単語近傍検索（二つのキーワードでの近傍検索） 3. 3単語近傍検索（三つのキーワードでの近傍検索） 4. 参考情報 ※J-PlatPatの画面は本テキスト作成時点のものです。実際の画面と異なる場合がございます。
---	--

J-PlatPat 講習会動画

令和 7 年度にリニューアルしたオンライン講習会に基づいて内容を一新！

①特許・実用新案初級編、②特許・実用新案中級編、③商標編、④意匠編があります。

特許・実用新案 初級編	特許・実用新案 中級編	商標編	意匠編
オンライン講習会 特許・実用新案 初級編 INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館） 知財情報部 情報提供担当	オンライン講習会 特許・実用新案 中級編 INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館） 知財情報部 情報提供担当	オンライン講習会 商標編 INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館） 知財情報部 情報提供担当	オンライン講習会 意匠編 INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館） 知財情報部 情報提供担当

令和 7 年度新規公開動画

INPIT が提案する！ J-PlatPat おすすめ利用フロー

J-PlatPat の基本操作を習得した方へ、各種調査をさらに適切に行う上での「利用フロー」をご提案する動画です。

①特許・実用新案編、②意匠編、③商標編があります。



上記以外の主な人気動画

J-PlatPat とエクセルだけでできる！初めての特許情報分析

株式会社イーパテント代表取締役／知財コンサルタントの野崎篤志先生を講師としてお招きした全 4 回の動画。件数推移マップ、マトリクスマップなどが作成できます。



研究者のための J-PlatPat 活用動画

研究者のための特許検索の基礎、研究者のための特許文献の検索方法、研究者の特許検索例の全 3 回。特許情報をうまくご自身の研究活動にご活用ください。

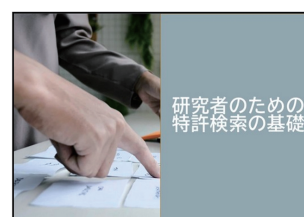


図 6 J-PlatPat に関する主な動画コンテンツ